

研究報告 7

英語を通して自分の考えを伝え合うことができる生徒の育成 －ライティングにおける自己表現活動－

愛知県立長久手高等学校 教諭 加藤 祐子

1 はじめに

新学習指導要領本格実施を前に、昨年度より英語Ⅱの授業などで授業改善を目指し、リスニングを各課の導入に用いたり、パラグラフの並べかえで大意をつかんだりといった活動をしてきた。しかし「書く」ことについては授業ではほとんど扱えず、バランスよく活動することができなかった。今年度は3年生の担当で、昨年度あまりできなかった「書く」ことを中心に、英語によるコミュニケーション能力の育成を目指した授業実践について考えた。具体的には「ライティング」の授業で、「書く」ことによるコミュニケーション活動の実践を行い、来年度から始まる「英語表現」の授業につなげたい。

2 生徒の実態

本校3年生理系の1クラスで実践した。ほぼ全員が大学進学を目指しており、受験を控えて学習意欲も比較的高く、授業には真面目に取り組む。しかし英語で表現することに慣れておらず、自由英作文の課題に挑戦するのは難しい。

3 研究の目的

英語に苦手意識があっても、生徒が自由英作文を含めた英語での表現に興味をもてるように、英語で表現したことに對してどのような反応が返ってくるかを体験させるなどの指導方法を探り、「書く」ことを通じたコミュニケーション活動に積極的に取り組む生徒を育成する。

4 研究の仮説

さまざまな場面を設定し、文例を紹介するなど、段階的に英語で「書く」ことに慣れていくような活動を工夫することにより、多用な表現方法を習得して、自己表現をすることができるようになるだろう。

5 研究の方法

本校第3学年生徒を対象としてライティングの授業において以下の方法で実践を行うことにした。

(1) 場面、設定にあった英文を作成させ、意見をまとめるための工夫の手だて

ア 教科書の設定、文例の理解 … **手だてA**

イ 場面を設定して英作文 … **手だてB**

(ア) 「感謝」「同情」等の気持ちを伝える手紙の作文

(イ) 「承諾」「断り」を伝える手紙の作文

(ウ) 「お薦めの場所」についてのパラグラフ作成

(2) 生徒間で意見を交換しあうための工夫の手だて

ア 生徒の英作文をクラスで紹介 … **手だてC**

イ 他の生徒の作文についての感想を書く … **手だてD**

(3) 単元構想①

1 単元名 Lesson 21 Lesson 22 Lesson 23			
2 単元の目標			
・表現を積極的に学び、自分なりの表現を工夫している。			
・「感謝」「同情」等の内容に関して作文し、読み手に分かりやすく伝えることができる。			
・他の生徒の手紙を読み、理解し、感想を書くことができる。			
・「感謝」「同情」等の表現を理解し、使用している。			
3 単元の評価規準			
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
表現を積極的に学び、自分なりの表現を工夫している。	「感謝」「同情」等の内容に関して作文し、読み手に分かりやすく伝えることができる。	他の生徒の手紙を読み、理解し、感想を書くことができる。	「感謝」「同情」等の表現を理解し、使用している。
4 単元の概要と言語活動			
本単元は2年次に学習したライティング活動を踏まえて、「言語の使用場面」に対応する表現練習を目指したものである。「感謝」「同情」「謝罪」を表す定型フレーズを学び、実際に使用して相手に伝える力を養う。			
5 単元の指導計画（全2時間） ※1時間：50分			
	学 習 活 動（生徒）	言語活動に関する指導上の留意点（教師）	
第1次 (0.5)	【表現の確認】 ・手紙の書き出し、「感謝」「同情」等の表現を確認する。 ・手紙の文例を理解し、文章の構成について学習する。	・個々の文法事項の確認だけでなく、文章の自然な流れも意識させ、気持ちを伝える方法を考えさせる。 手だてA	
第2次 (0.5)	【演習】 ・教科書の演習問題に取り組み、さまざまな表現を習得する。	・あまり細かく間違いを指摘しない。 ・他の表現がないか考えさせる。 手だてA	
第3次 (1)	【手紙の作成】 ・身近な人に対し、「感謝」「同情」「謝罪」をテーマに手紙を書く。相手や場面は自分で設定する。 ・他の生徒の文章を読んで、感想を書く。	・相手に気持ちが伝わることを目標に作文させる。 手だてB ・添削して返却し、設定のユニークなもの、文章の構成がよいもの等は授業で紹介する。 手だてC ・感想も紹介するなどして書きっぱなしにならないようにする。 手だてD	

(4) 単元構想②

1 単元名 Lesson 24 Lesson 25			
2 単元の目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・表現を積極的に学び、自分なりの表現を工夫している。 ・「承諾」「断り」等の内容に関して作文し、読み手に分かりやすく伝えることができる。 ・相手の招待の内容を理解し、「承諾」「断り」の手紙を書くことができる。 ・「承諾」「断り」等の表現、及び準動詞について理解し、使用している。 			
3 単元の評価規準			
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
表現を積極的に学び、自分なりの表現を工夫している。	「承諾」「断り」等の内容に関して作文し、読み手に分かりやすく伝えることができる。	相手の招待の内容を理解し、「承諾」「断り」の手紙を書くことができる。	「承諾」「断り」等の表現、及び準動詞について理解し、使用している。
4 単元の概要と言語活動			
<p>本単元は2年次に学習したライティング活動を踏まえて、「言語の使用場面」に対応する表現練習を目指したものである。「承諾」「断り」を表す定型フレーズを学び、実際に使用して相手に伝える力を養う。</p>			
5 単元の指導計画（全2時間） ※1時間：50分			
	学 習 活 動（生徒）	言語活動に関する指導上の留意点（教師）	
第1次 (0.5)	【表現の確認】 <ul style="list-style-type: none"> ・招待への「感謝」「希望」や「断り」「辞退」等の表現方法を確認する。 ・手紙の文例を理解し、文章の構成について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の文法事項の確認だけでなく、文章の自然な流れも意識させ、気持ちを伝える方法を考えさせる。 <p style="text-align: right;">手だてA</p>	
第2次 (0.5)	【演習】 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の演習問題に取り組み、さまざまな表現を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり細かく間違いを指摘しない。 ・他の表現がないか考えさせる <p style="text-align: right;">手だてA</p>	
第3次 (1)	【手紙の作成】 <ul style="list-style-type: none"> ・ペアを作り、お互いをキャンプやパーティーなどに誘う招待文を書く。 ・相手の招待に対し、「承諾」か「断り」の返事を書く。 ・添削されたものをペアで確認し、自分の招待に対する相手の返答を読み、より適切な表現について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「承諾」でも「断り」でも喜びやおわびの気持ちが伝わるよう意識して文章を作らせる。 <p style="text-align: right;">手だてB</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の準動詞を使うことと使用した準動詞には下線を引くよう指示する。 	

(5) 単元構想③

1 単元名 Lesson 31			
2 単元の目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・表現を積極的に学び、自分なりの表現を工夫している。 ・基本的なパラグラフ構成を学び、自分でアウトラインを書き、それに基づいてパラグラフが書ける。 ・相手の意見を読み、意見を支持する理由、具体例を理解することができる。 ・英語のパラグラフ構成について理解し、英文を作成している。 			
3 単元の評価規準			
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
表現を積極的に学び、自分なりの表現を工夫している。	基本的なパラグラフ構成を学び、自分でアウトラインを書き、それに基づいてパラグラフが書ける。	相手の意見を読み、意見を支持する理由、具体例を理解することができる。	英語のパラグラフ構成について理解し、英文を作成している。
4 単元の概要と言語活動			
本単元は英語の基本的なパラグラフ構成，マッピングおよびアウトラインの作り方について学習する。			
5 単元の指導計画（全1.5時間） ※1時間：50分			
	学 習 活 動（生徒）	言語活動に関する指導上の留意点（教師）	
第1次	【パラグラフ構成の確認】 ・オーストラリアについて書かれたモデルパラグラフからマッピングを作り、文の構成を確認する。	・マッピングがどんなものか、また作文をする上で有用であることを理解させる。 手だてA	
第2次 (0.5)	【マッピングの作成，パラグラフ構成の考察】 ・自分の「お薦めの場所」についてマッピングを作成し，パラグラフの構成について考える。	・説得力のある文章を作成するためマッピングを使ってアウトラインを考える重要性を意識させる。 手だてB	
第3次 (0.5)	【パラグラフの作成】 ・メモに基づいて，「お薦めの場所」についてパラグラフを作成する。 ・ペアになり相手のパラグラフに対し，感想を書く。またどちらか一方を選んで提出する。	・なるべくモデルパラグラフと同じ表現を使わないよう指示する。 手だてB	
第4次 (0.5)	【評価】 ・提出されたパラグラフのうち，いくつかを読む。最も説得力のあったものを選び，感想を書く。	・主題，理由，具体例，結論が分かりやすく書いてあるかを確認するようにさせる。 手だてD	

6 学習活動と新学習指導要領との関連

- 各課の課題に従って、場面にふさわしい英文を書くことができる。

イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。

(英語表現Ⅱ 2(1))

7 言語活動の充実の工夫

- ①生徒に身近な相手や場面を設定させ、現実在即した内容について英作文をさせる。
- ②読み手を意識して作文させ、他の生徒の文章に感想を書くなどして、意見のやりとりをさせる。
- ③パラグラフの構成について注意を払うことが、リーディング力の養成にもつながることを意識させる。

6 研究の実際と考察

(1) 場面、設定にあった英文作成

ア 教科書の設定、文例の理解

Lesson 21～23では、「感謝」「同情」「謝罪」をテーマにしたモデルの手紙文を参考に、その構成について説明し、表現を習得させた。書き出し、喜び、励ましを表す表現、謝罪の後の言い訳など、どのような表現を使えば円滑なコミュニケーションにつながるかを確認した。Lesson24, 25では、「承諾」「断り」をテーマに、定型表現を紹介した。期待、希望を伝える表現、結びの表現について確認した。Lesson31ではモデルパラグラフ（オーストラリア紹介）の構成をマッピングを使って捉え、論理的に一貫したパラグラフ構成の方法を説明した。主題文、理由、具体例、結論の流れを把握し、分かりやすい文章構成について確認した。

イ 場面を設定して手紙形式で英作文

Lesson 21～23では「感謝」「同情」「謝罪」をテーマに身近な人へのメッセージを書くという設定で、友人や両親にあてて手紙を書くつもりで取り組むよう指示した。友人への手紙だけでなく、両親への感謝の気持ちを綴る者も多く、相手に自分の気持ちを伝えることを意識して作文できた。中には「ドラえもん」から「のび太」に宛てた手紙を書いた生徒もおり、教科書の文例を離れてユニークな設定を使って作文できた者もいた（資料1）。

【資料1 生徒作文例】

I am sorry you are punched by Giant.

I broke my arm by him.

He is dangerous so much …

My friends Suneo is punched every day.

It is too bad like your damage.

Get well soon.

※綴りの誤りについては筆者が訂正したものを掲載している。

I need you for Giant's sacrifice.

以下の資料についても同じ。

Lesson 24, 25ではペアを作り、相手をキャンプやパーティーに誘う文章を作らせ、それに対する「承諾」「断り」の英文を作成させた。ペアで文章のやり取りをすることができ、生徒は比較的熱心

に、また楽しんで英文を作ることができた（資料2）。

【資料2 生徒作文例】

誕生パーティー、キャンプなどに相手を誘ってみよう。

Could you come to my birthday party?
Let's enjoy together!

承諾・断りの返事を書いてみよう。どこかに準動詞を使うこと。

I received your invitation to go the party. I wish I could go, but I already have plan that day. That day, I am going to go my grandmother's house and I have to study hard in order to pass the college. I want to enter the college!! So I am studying English for an hour and studying math for an hour...at home every day. But I hope you have a great time and everything goes well. Please tell me about it later. After I finished studying to enter the college, let's make plans to get together. I hope to go somewhere with you someday! Thank you for reading. Good bye.

Lesson 31ではモデルパラグラフ（オーストラリア紹介）を使ってマッピングの書き方を理解させた。また主題文，理由，具体例，結論の流れを確認し，パラグラフの構成について確認した。次に生徒本人のお薦めの場所を設定させ，マッピングの作成をさせた。場所の設定に時間がかかる者もあり，学校のある長久手市，修学旅行先の沖縄，自宅など理由が挙げられそうな場所を例示した。その後，理由や具体例について英語でメモを書かせ，それをもとにパラグラフを作成させた。モデルパラグラフと全く同じ文にならないよう出だしに注意させ，読み手を引きつけるような書き出しについても考えるよう指示した。時間不足でモデルと同じ書き出しになってしまった生徒もいたが，大半はそれぞれに工夫を凝らして作文できた（資料3）。

【資料3 マッピング，メモ生徒作成例及び生徒作文例】

マッピング	
<pre>graph TD; Toba --- places; Toba --- foods; Toba --- hot_spring; places --- Mikimoto[Mikimoto Pearl Island]; places --- Toba_Aquarium[Toba Aquarium]; foods --- fish; foods --- oyster; foods --- Iseudon;</pre>	
英語でメモ	
☆お薦めの場所	Toba is my favorite place for two reasons.
☆理由1	There are many sightseeing place.
具体例	Mikimoto Pearl Island, Toba Aquarium
☆理由2	There are a lot of delicious food.
具体例	Oyster, Iseudon, fish
☆結論	You have to visit Toba.

お薦めの場所を紹介

Toba is my favorite place for two reasons.

First, there are many sightseeing spots. We can see Ama and buy pearls in Mikimoto Pearl Island. Toba Aquarium is one of the most popular aquariums in Japan.

Second, there are a lot of delicious foods such as Iseudon, fish, and oysters. Oyster is called "the milk of sea". I encourage a raw oyster.

You have to visit to Toba when you are tired.

(2)生徒間で意見を交換しあう

ア 作文をクラスで紹介

Lesson 21～23では、各課で生徒が作った英文を添削し、いくつかを選んで生徒全員に紹介した。生徒にはその中から気持ちが伝わったと思う作文を選ばせ、それに対し英語でコメントを書かせた。コメントの部分のみを切り取り、作文した生徒に渡るようにした（資料4）。

【資料4 生徒英作文紹介プリント及びコメント例】

Power On English Writing Lesson21～23(感謝, 同情, 謝罪のメッセージ)

1. Thank you for pleasing me.

I really appreciate you talk with me everyday.

I was very glad that I can be your friend.

I really enjoyed being the same class last year, and I enjoy this year, too.

Please be a good friend from now on, too.

2. I am sorry that I lost your book.

I lost it somewhere.

I run around looking for it.

But, I couldn't find it.

So, I bought you a new book.

Please accept my apologies.

あなたが読んで、一番気持ちが伝わったと思うメッセージはどれですか？

一つ選んで、英語でコメントを書いてみよう。

選んだメッセージ: 1

コメント:

I think this message is excellent. If I were received this message, I would be impressed. I have friends such as this message's. So I want to send just like a this message too.

Lesson 31については、できた作文をペアで交換し、理由、具体例が分かりやすく説得力がある、内容が首尾一貫しているなどの観点で良く書けている方を選ばせ提出させた。その中からいくつかをクラスで紹介し、一番良いと思うものを選んで理由を書かせ、書いた本人に渡せるようにした（資料5）。

【資料5 生徒作文例及び感想例】

Lesson 31 お薦めの場所を紹介しよう

1. Nara Park is great park in Japan. There are many deer in the park. You can give them "Shika Senbei", but you should be careful then. Because deer dashing to you. It's dangerous.

And you can see a lot of temples in the park. There is "Nara Daibutu" that most popular huge statue of Buddha.

And there are many food shop of Soba & Udon. Both are very good. Specially good is "Nishin Soba". It's delicious.

Nara Park is good.

2. If you are bored, let's go shopping center. If you go to the shopping center with your mother, you could be bought something you want to. If you go there with your friends, you can enjoy talking and drop in the book stores. When you are tired during your shopping, you can rest anywhere in the shopping center. Because there are many comfortable places. Such as playroom for children, restroom and food stores and so on.

Probably you would be excited by going shopping center. There are many variable food shops, so you can eat sushi and hamburgers and so on.

Shopping center is an amazing place.

☆ **6人のお薦めの場所のうち、あなたが一番行きたいと思った所はどこですか。**

英語で理由も書いてみよう。

行きたい場所: Nara Park

理由: Sounds like great. I love deer but my hand is eaten by deer... It's crazy and dangerous.

I want to go to Nara Park once more.

(3) アンケートの実施

授業実践後、活動に対する感想などについてアンケートを実施した。

ア 授業前、自由英作文をすることに抵抗感があったか。

かなりあった	多少あった	あまり無かった	全く無かった
34.2%	36.8%	18.4%	10.5%

イ 授業で「感謝、同情」「承諾、断り」、そして「お薦めの場所」についての作文をしたが、それぞれについて取り組みやすさ、抵抗感の軽減はどうだったか。

○ 「感謝、同情」についての作文

取り組みやすい	比較的取り組みやすい	かなり取り組みにくい	とても取り組みにくい
10.5%	60.5%	23.7%	5.3%

抵抗感がかなり減った	抵抗感がやや減った	抵抗感があまり減らなかった	抵抗感が全く減らなかった
10.5%	52.6%	23.7%	13.2%

○「承諾，断り」

取り組みやすい	比較的取り組みやすい	かなり取り組みにくい	とても取り組みにくい
13.2%	55.3%	26.3%	5.3%

抵抗感がかなり減った	抵抗感がやや減った	抵抗感があまり減らなかった	抵抗感が全く減らなかった
13.2%	52.6%	23.7%	10.5%

○「お薦めの場所」

取り組みやすい	比較的取り組みやすい	かなり取り組みにくい	とても取り組みにくい
18.4%	47.4%	28.9%	5.3%

抵抗感がかなり減った	抵抗感がやや減った	抵抗感があまり減らなかった	抵抗感が全く減らなかった
13.2%	50.0%	23.7%	13.2%

授業前の自由英作文に対する気持ちを尋ねたところ，7割以上の生徒が抵抗感ありと答えていた。実際に授業でやってみると，「感謝，同情の手紙」は71%，「承諾，断りの英文」は68%の生徒が比較的取り組みやすいと感じており，授業後には64%程度の生徒が英作文に対する抵抗感が幾分減ったと答えている。マッピングについては66%の生徒が取り組みやすいと感じており，63%の生徒の抵抗感が減ったようだ。今回の英作文についてはそれほど難しいとは感じておらず，感想を見ても「楽しめたので機会があったらまたやりたい」などの前向きなコメントが見られた。一方，3割程度の生徒は各課の課題に組みにくい，英語で気持ちを伝えることに抵抗感が減らないと答えており，あまり効果の感じられない者もいた。

7 成果と課題

(1) 仮説の検証

「書く」ことに段階的に慣れていくことを目的に活動をしたが，多くの生徒はあまり抵抗感なく取り組めたようである。一つ目の活動で，英文を紹介した生徒の一人は，英語の成績が芳しくなく，クラスでも成績は下位に位置しているが，作文の内容がユニークで，他の生徒に紹介したところ，作文には興味をもち，回を重ねるごとにどんどん長い文章を書くようになった。また「英語に親しむよい機会になった」とコメントする生徒もおり，表現することに興味をもつきっかけになったのではない。しかし，多様な表現を習得するという点では充分とは言えず，よりの確に気持ちを伝える手だてを習得させる必要があった。今回は細かい文法的な誤りを指摘せず，まず気持ちを伝える文章を書くということに焦点を置いたが，独創的な文章を書けば書くほど，日本語をそのまま英語にした表現が目立ち，個々の生徒により細かく指導する必要性を感じた。

(2) 今後の課題

今回の研究で，自分の気持ちを英語で書くこと，書いた文章を使って他の生徒とやり取りをすることに生徒はこちらが考えるほど抵抗感が無いことが分かった。Lesson 31の活動は，他クラスでも試みたが，やはり生き生きと取り組む様子が見られた。ただ正確な文章を書くという点ではかなり問題があり，文法・語法や構文の知識を身に付けることとそれを使って表現することをバランスよく授業

で扱う必要性を感じた。生徒の中には「自由に書いて楽しかった。もっと英作文がやってみたいと思い始めた」とコメントする者もあり、あまりにも制約があったり、正確さばかりを重視したりすると表現することを楽しめず、本来の目的であるコミュニケーション能力の育成につながらないとも考えられるので、正確さについては段階的に求めていくことも重要であると感じた。また生徒のコメントの中には「卒業後も英語で作文する力は役に立つと思った」という意見もあり、設定を工夫して実用的な場面で使用する表現を多く取り入れれば高校卒業後も活用できる力として捉えられ、動機付けになるのではないかと考えられる。今回は「書く」「読む」という活動しかできなかったが、今後はそれを発表するなど「話す」「聞く」といった活動につなげていきたい。

8 おわりに

本実践では、生徒のコミュニケーション能力育成のために、英作文を中心とした言語活動を実践してみた。生徒の自己表現の能力を高めるためにはさらなる授業改善の工夫が必要である。今後も英語をコミュニケーションの手段として積極的に使おうとする生徒の育成のため、一層努力したい。

参考文献等

- 文部科学省『高等学校学習指導要領』平成21年3月告示
- 文部科学省（2010）『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編』
- 国立教育政策研究所 教育課程研究センター（2012）『評価基準の作成，評価方法の工夫改善のための参考資料（高等学校 外国語）』